



2021 年 2 月 24 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 和 心
(コード番号：9271 東証マザーズ)
住 所 東京都渋谷区千駄ヶ谷三丁目 20 番 12 号
代表者名 代 表 取 締 役 森 智 宏
問合せ先 取 締 役 管 理 部 長 宮 原 優
(TEL. 050-5243-3871)

＜マザーズ＞ 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○ 開催状況

開催日時	2021年 2 月 24 日	15 : 30～16 : 00
開催方法	ネットによるオンラインによる開催	
説明会資料	2020年12月期 決算説明会資料	

【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料

※この書面（添付資料を含む）は、有価証券上場規程施行規則第 4 2 7 条に基づき、公衆縦覧に供されます。



2020年12月期

決算説明会資料

2021年2月24日
株式会社和心
東証マザーズ(9271)



1. 会社概要
2. 2020トピック
3. 業績説明
4. 2021戦略

会社概要

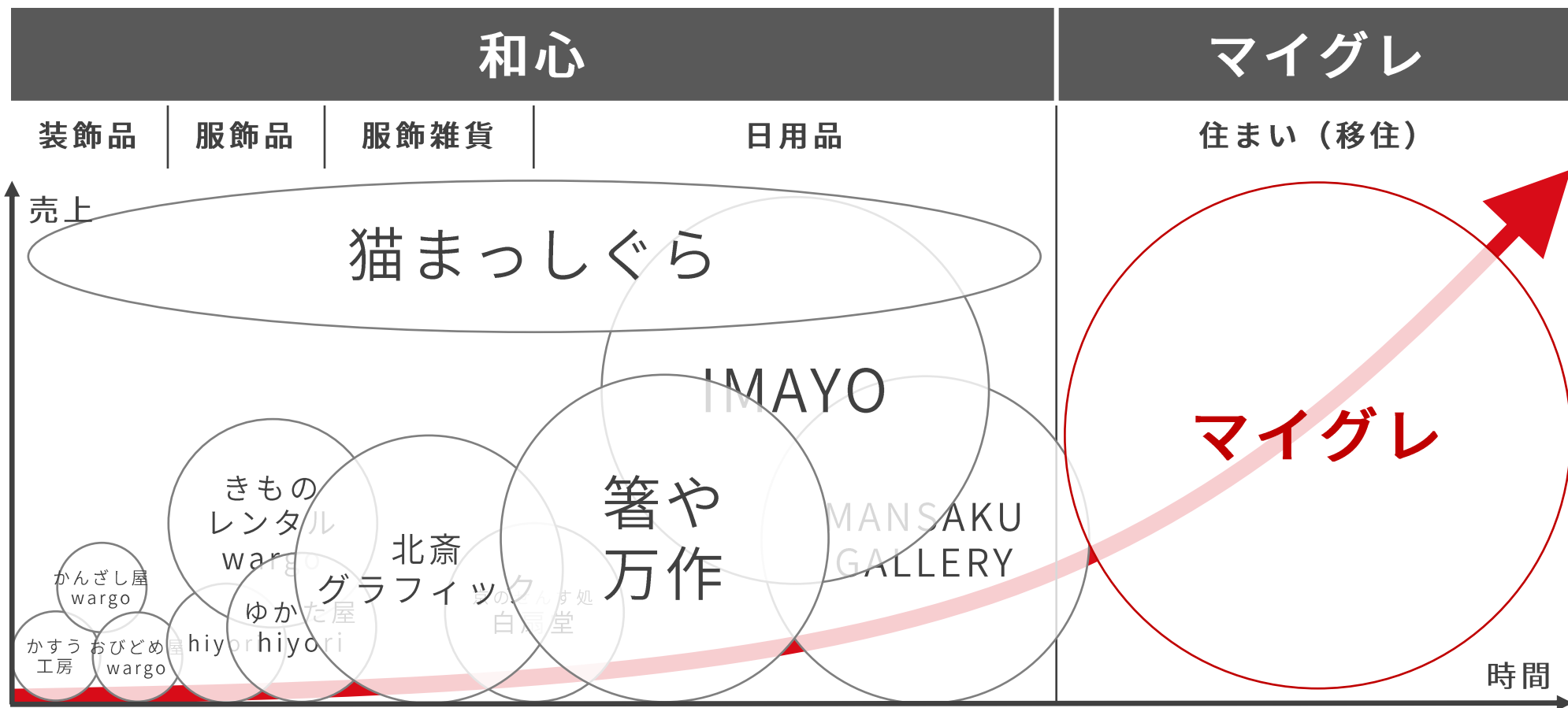


『日本のカルチャーを世界へ』

Japanese culture to the world

会社名	株式会社 和心		
設立	2003年2月7日（1997年7月創業）	役員	代表取締役社長 森 智宏
資本金	506,533千円（2020年12月31日）		取締役副社長 他力野 淳
本社	東京都渋谷区千駄ヶ谷3-20-12和心ビル		専務取締役 最上 夢人
店舗数	43店舗（モノ事業37店舗、コト事業6店舗）		取締役管理部長 宮原 優
			取締役法人営業部長 小田桐新五
従業員数	313名（非正社員268名含）	子会社	社外取締役監査等委員 山田 奨
			社外取締役監査等委員 白潟 敏郎
			社外取締役監査等委員 深井 未来生
			マイグレ株式会社
事業概要	モノ事業	和雑貨の企画・デザイン、製造、販売（店舗・EC）	
	コト事業	着物の着付・レンタル（店舗・EC）	
	マイグレ	地方移住者向け不動産の仕入、改装、賃貸・売買	

観光地から居住地へ。コロナが追い風となるビジネスを始動



※上図の円の大きさは市場規模のイメージです

2020 トピック

コロナウイルスの影響で売上が大幅減

2020年施策

1

高収益店舗に集中

2

経費の圧縮

3

バランスシートのスリム化

不採算店舗の退店を進め高収益店舗に集中し、 収益性を改善

コロナ前
(2020年1月)

コロナ後
(2020年12月)

店舗数

90店舗



43店舗

モノ事業

71店舗



37店舗

コト事業

19店舗



6店舗

倉庫やオフィスの集約により経費を圧縮

コロナ前
(2020年1月)

コロナ後
(2020年12月)

213 百万円

132 百万円

月次経費
(販売管理費)

倉庫

千葉・京都・大阪



千葉・静岡

→ 静岡に集約
(2021年)

オフィス

東京・京都・大阪
デザイン室2か所



東京
デザイン室1か所

在庫評価減金額



342,588千円

固定資産減損金額

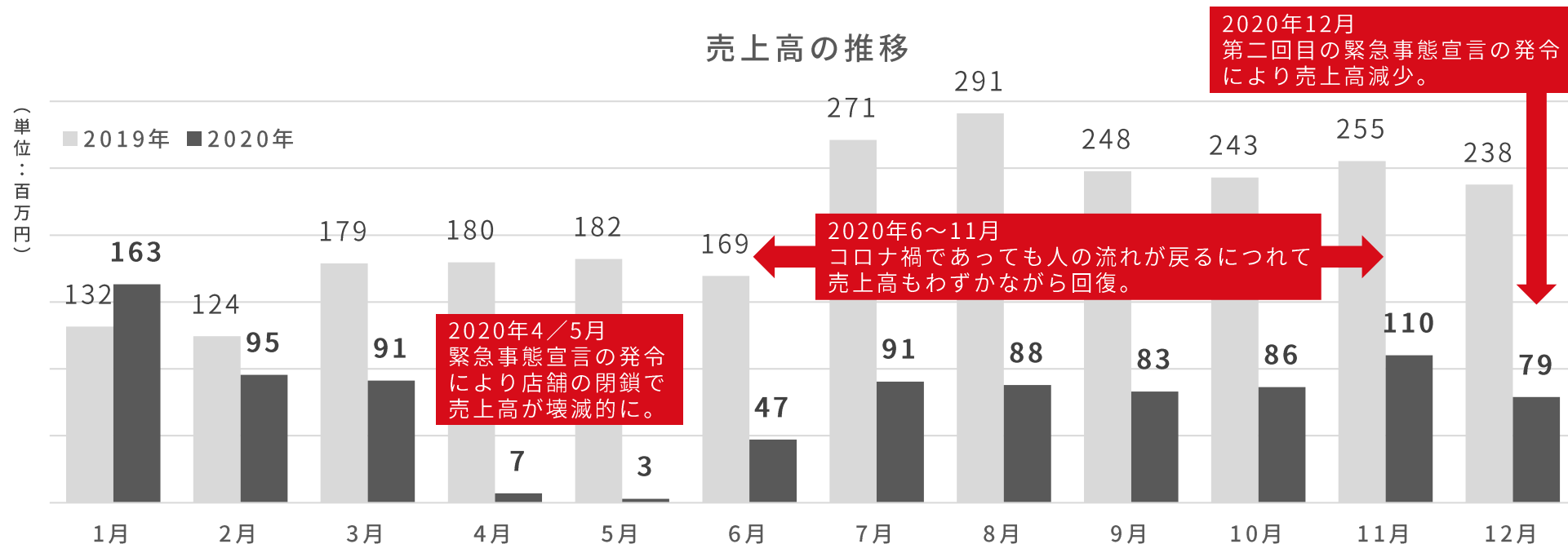


234,122千円

「債務超過」

業績説明

損益計算書（通期）



	2019年12月期 「単体」実績（※）	2020年12月期 「連結」実績	前年同期比率
売上高	3,033	1,288	△57.5%
売上総利益	2,395	699	△70.8%
販管費	2,511	1,696	△32.5%
営業利益	△116	△996	
経常利益	△108	△993	
当期純利益	△191	△1,255	

(単位：百万円)

※ 2020年12月期より連結財務諸表を作成しているため、2019年12月期の数値は単体のものです

貸借対照表

	2019年 年度末	2020年 年度末	増減		2019年 年度末	2020年 年度末	増減
流動資産	1,139	457	△682	流動負債	596	628	△32
現預金	502	224	△278	買掛金	68	15	△53
売掛金	138	65	△73	短期借入金等	271	262	△9
商品	① 339	40	△299	未払金	166	193	△27
その他	160	127	△33	その他	88	155	67
固定資産	② 900	480	△420	固定負債	473	409	△64
有形固定資産	225	168	△57	長期借入金	473	407	△66
無形固定資産	121	18	△103	その他	0	1	△1
投資その他資産計	553	293	△260	株主資本計	987	△112	△1,099
繰延資産	1	0	△1	純資産合計	972	③ △99	△1,071
資産合計	2,041	938	△1,103	負債・純資産合計	2,041	938	△1,103

(単位：百万円)

「資産の徹底した圧縮」を実施

①在庫評価減の計上により88%減少

②固定資産減損損失の計上により47%減少

結果として

③債務超過→在庫評価減及び固定資産の減損の計上により、2021年12月期営業利益への寄与がある。

2021戦略



「脱アナログ、脱固定経費、 脱イニシャルコスト」

モノ事業

店舗



既存の優良店舗で既存の在庫をメインに
粛々と営業をしていきます。

OEM



人員を増やして強化します。

通販



広告、CVR、SEOの3つの戦略に
それぞれ外部コンサルを導入します。

コスト事業

店舗



一度は全店退店を予定したが、予想以上の回復により継続を決定。固定費のかからない契約形態に絞り10店舗の出店攻勢をかけます。

現在 3 店舗準備中、 4 店舗出店予定

出店の際の特筆事項：

固定費無し、イニシャルコストの最小化

通販



好調につきさらなる飛躍を。

モノ部同様コンサルを導入、増員を行い大幅増を狙います。

1 手元流動性の確保

これまで進めてきた経費の見直しを引き続き継続し、無駄を省くことで最小限の経費で緊急事態宣言下の厳しい状況を凌ぐ。

2 堅実なキャッシュフローの創出

売上が回復基調に転じた際に堅実なキャッシュフローの創出を実現するために、店舗事業での固定費について ①既存店については見直しを進め、
②新規出店については固定費がかからない契約形態で出店を進める。

3 中長期的な財務健全性の向上

多様なエクイティファイナンスにより自己資本の強化を図り、同時に手元流動性の確保及び翌期以降の飛躍に必要な投資資金を確保。
また子会社は独自の資金調達を実行することで、グループとしての財務健全性の向上を目指す。

好調により増資完了。

今後は住宅を粛々と買い進めながらも、宿泊施設、
またジムやサウナ等無人店舗形態での業務を拡大し、
より生活に近いサービスを展開。



当資料に記載されている意見や予測は、当資料作成時点における当社の判断に基づき作成しております。
これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招きうる不確実性を含んでおります。
それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる情報の更新・修正を行う義務を負うものではありません。